

●令和6年度決算は、まちづくりを進める上で重要な施策が多く実施されたが、各事業で市民との対話が足りず、不満の声が上がっている。早川中央土地区画整理事業では、土地区画整理組合から近隣住民に対する十分な説明がないまま、大型物流施設の建設が進められた。市は組合に対して助成金を出していることからも、事業に無関係とは言えず、近隣住民の生活環境悪化を無視した進め方に反対する。中心市街地再編計画は、市、地権者や事業者の都合で事業を進めているが、開発優先ではなく、市民の買い物の利便性を最重視した考えにすべきであり反対する。道の駅事業は、測量業務やワークショップ運営支援業務などの費用として、1億円以上の税金

が支出されたことに疑問を抱く。学校給食費では、半額補助の継続実施を歓迎するが、財源は国庫補助金で期限付きとなる。義務教育期間中は、学校での食事を保障するため、給食費の無償化が必要であり、国による早期の実施が見込めない場合は、一般財源により、市が率先して対応すべきであると考えている。給食の材料は、地場産物の使用で地産地消を推進し、市内の産業振興につなげることもできるが、こうした考えに基づく決算とは言えない。以上のことから、本決算に反対する。

※(一)は、会派名です。記載のないものは、会派を組んでいない議員の意見です。

令和6年度各会計の決算規模

歳入		決算額	前年度との比較	
			増減	伸び率
一般会計		349億9,662万円	15億7,150万円	4.7%
特別会計	国民健康保険事業	80億 434万円	△1億8,037万円	△2.2%
	介護保険事業	69億2,060万円	4億8,401万円	7.5%
	後期高齢者医療事業	16億5,260万円	2億2,028万円	15.4%
	小計	165億7,754万円	5億2,392万円	3.3%
合計		515億7,416万円	20億9,542万円	4.2%

歳出		決算額	前年度との比較	
			増減	伸び率
一般会計		335億8,714万円	13億5,514万円	4.2%
特別会計	国民健康保険事業	79億9,434万円	△1億8,037万円	△2.2%
	介護保険事業	68億5,104万円	5億2,618万円	8.3%
	後期高齢者医療事業	16億3,046万円	2億1,438万円	15.1%
	小計	164億7,585万円	5億6,018万円	3.5%
合計		500億6,299万円	19億1,532万円	4.0%

公営企業会計		決算額	前年度との比較	
			増減	伸び率
公共下水道事業	収益的収入	28億2,771万円	1億4,947万円	5.6%
	収益的支出	24億3,363万円	1億9,334万円	8.6%
	資本的収入	12億4,581万円	△5億4,031万円	△30.3%
	資本的支出	12億4,107万円	△19億 739万円	△60.6%

表中の△はマイナスを表しています。

市政に対する一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をただすことができるものです。

9月定例会では、9月19日・22日の本会議で14人の議員から質問が行われ、議論が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、6ページまで続きます)。また、見出し下部の二次元コードから市議会ホームページに掲載の各議員の一般質問の録画映像にアクセスできます。



子育て世帯の家計支援のため給食費無償化の実施を



志政あやせ 古市 正

●給食費について

Q 令和8年度の国による小学校給食費無償化に合わせ、市で中学校の給食費無償化を実施しないか。

A 小学校給食費無償化は現段階で国の施策として確定しておらず、仮に確定した場合でも、中学校の給食費を無償化すると、市の多大な財政負担が恒常的に生じることになる。現在は国や県へ要望を

行い、市の独自事業で半額補助を実施しているが、引き続き国の動向を注視し、効果的な事業実施を検討していく。

●ごみ収集について

Q 資源物収集の業務委託実施から1年経つが、現状は。

A 収集所の立ち当番などの廃止により、負担が軽減されたこと喜びの声がある一方、資源物の盗難、排出禁止のごみや未分別ごみの増加など、

新たな課題が生じている。特色のある学校を目指して綾瀬市型小中一貫教育の制度発足から5年が経過したが、現状は。

授業スタイルの共通化、小・中学校の交流実施、中学校の授業体験や生徒指導など、各中学校区で特色ある取り組みが行われている。

Q 英語に特化した教育課程特例校の申請をしないか。

A 市全体の教育特区の認定を受けることや、学校単独の教育課程特例校の新規指定は、現状では考えていない。



本市医療体制の現状認識と将来展望をどう描くか



志政あやせ 古郡 敏正

●綾瀬市の医療体制について

Q 医療資源の偏在や不足に対する分析と課題は。

A 人口10万人当たりの施設数と医師数は県平均より少ない状況にあり、中でも小児医療体制の整備と医療資源の確保が喫緊の課題である。

Q 小児科診療所を誘致できた要因は。

A 市医師会に人材確保や土地の提供など誘致に向けて

尽力していただいたことや、開設に係る財政支援のため、小児科専門医の資格を有する医師の配置、週30時間以上の小児科診療時間の確保、10年以上継続して医療を行うことなどを条件とした補助制度を制定し積極的な誘致を行ったことが要因と捉えている。

Q 高齢化により多様化する医療ニーズへの課題は。

A 全国平均より疾病別の

●神崎遺跡について

Q 神崎遺跡復元住居の老朽化が進んでいるが、その対応をどう考えているか。

A これまで市職員が補修してきたが、特殊構造物のため限界がある。専門業者による修繕を検討したが、費用が高額であったため、費用対効果を踏まえ、最適な方法の検討を進めている。

詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。

なお、9月定例会の会議録は、11月下旬に閲覧できる予定です。

綾瀬市議会

検索

市議会本会議の様子をインターネットで!



市議会では、市民の皆さんに議会の様子をお伝えするため、本会議のインターネット配信を行っています。

本会議中の議場の様子をそのまま公開する「ライブ中継」と、会議日程などから見たい場面を探すことのできる「録画中継」を配信しています。

録画中継は、本会議終了後4日程度(土・日曜日、休日除く)で視聴できます。